

大会特別企画 × 「体験！ 人間性心理学」

日時

第1回 8月1日 17:45～19:45

第2回 8月2日 16:00～19:30

場所 大ホール

大会企画・司会 中田行重

この大会企画は既に大会案内やニュースレターでご紹介していますが、これが実際にどのように進むのかイメージできない方もいらっしゃると思います。この企画は次のような問題意識から始まりました。

「人間性心理学会が他の学会と違うところは何だろう？」

「人間性心理学会が独自の意味を持つとすれば何だろう？」

「人間性心理学会の大会に参加という体験の意味を深めるにはどうしたらいいだろう？」

そのためには、どんな大会にしたらいいだろう、どんな企画にしたらいいだろう、ということを経験委員会では考えました。考えていくと色々なアイデアが出てきました。どれもやってみると面白そうで、刺激的なものでした。すぐにでも研究に取り掛かりたいものもありました。

そこで、準備委員会が考えたのは、せっかく多彩な研究者が集まる、年に一度の大会です。この機会を最大限に活かす大会のあり方を探ってみる実験的な試みをしてみたい、ということでした。では、どうすれば？

そこで、準備委員会で議論を重ねた末、このような企画となりました。

まずラージコミュニティミーティングにおいて参加者全員が集まり、今この場で何を感じ、何をしたいと希望するか、などの意見を自由に話していただきます。そこから、「では何をするか？」を決め、実際にやってみてみたいと思っています。関心が分かれば、関心別グループに分会する可能性もあります。“今、この場”において自発的な参加をすることから何かが生成される体験を、皆さんで創造したいと思っています。

なぜ、この企画を2回行うのか？ この企画は参加者にとっても準備委員にとっても新しいものです。1日目は慣れていただき、刺激を受けた脳が活性化され、2日目に更に続いて生成のプロセスを深めたいと思っています。

スタンドバーに軽食もご用意しておりますので、リラックスしていただきながら、多彩な人たちの集まる、年に一度のせっかくのこの機会を十分に活かし、新鮮なプロセスが生まれることを期待しております。何が生まれるか分からないというその体験を尊重する意味で、特別企画に“X”という文言を敢えて入れることにしました。

発表論文集を読むだけでは得られない、人間性心理学体験の生成のプロセスに是非ご参加いただきたく思っております。